

2018年度 東京成徳大学卒業時アンケート結果の概要(健康・スポーツ心理学科)

教育研究改善委員会、企画・IR室、両学生支援課

I 調査の概要

(1) 目的 東京成徳大学が目指す「学修成果」を本学卒業予定者がどの程度身に付けているか検証する。

(2) 対象 2018年度卒業予定者(12月)

全体	393
日本伝統文化学科	24
国際言語文化学科	24
福祉心理学科	19
臨床心理学科	46
健康・スポーツ心理学科	41
子ども学科	137
経営学科	102

※実施は130名。

(3) 方法 各学科による学内での調査用紙の配布と回収(実施率:98.2%)

(4) 期間 2018年12月3日から2019年1月11日

(5) 回収状況

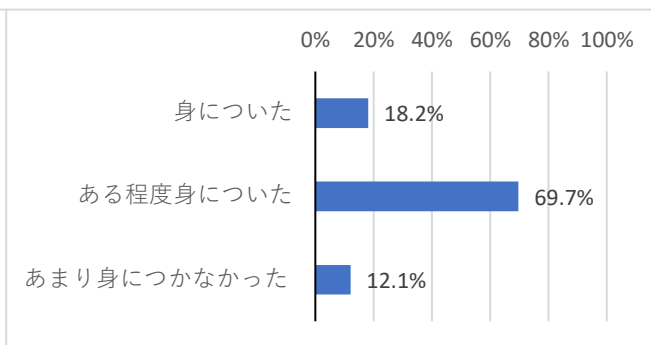
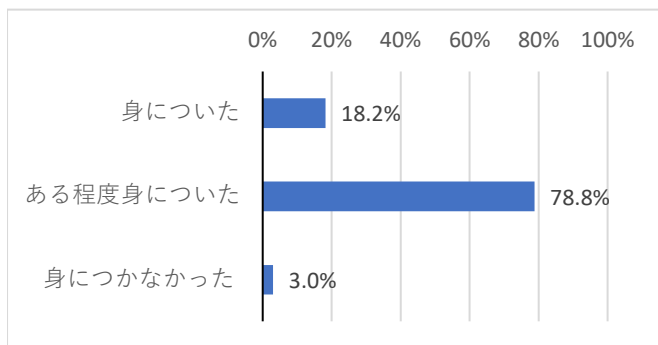
	回収数	回収率	男	女
全体	296	75.3%	99	197
日本伝統文化学科	15	62.5%	7	8
国際言語文化学科	20	83%	2	18
福祉心理学科	14	74%	2	12
臨床心理学科	41	89.1%	21	20
健康・スポーツ心理学科	33	80.5%	23	10
子ども学科	114	83.2%	6	108
経営学科	59	57.8%	38	21

II 各学科のDPの達成度

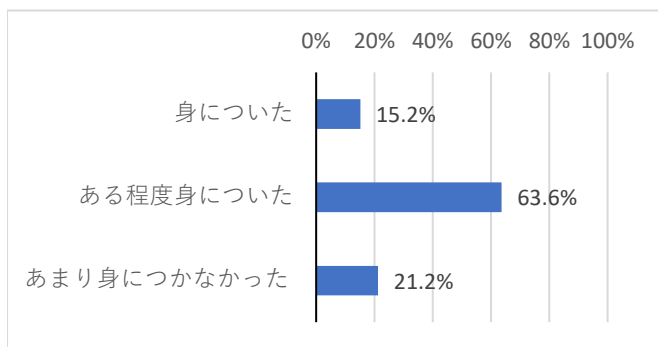
卒業するために学生が身に付けるべき能力や知識、スキル(=ディプロマ・ポリシー)がどの程度身についたと思いますか。

①. 共生とコミュニケーションの実践を図るうえで必要となる健康とスポーツに関する知識を含めた幅広い教養を身につける。

②. 健康・スポーツ心理学の専門知識・技術を修得し、心身の健康維持と増進について自ら図れるとともに、他者への支援もおこなえる。

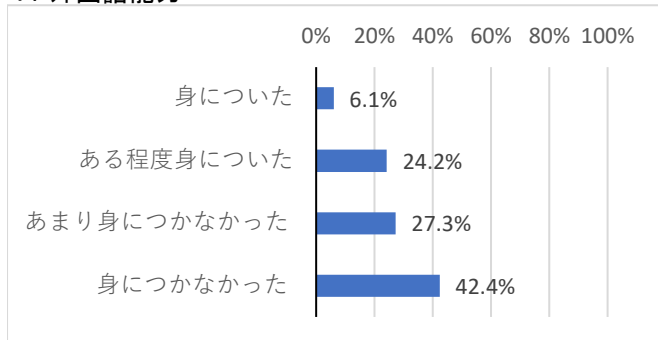


③. 健康とスポーツに関連する実践的職業人として社会で活躍できるマインドと就業基礎力を身につける。

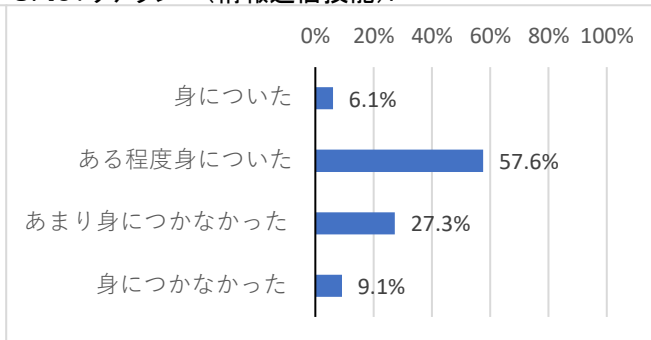


Ⅲ 下記の学修内容はどの程度身につきましたか？

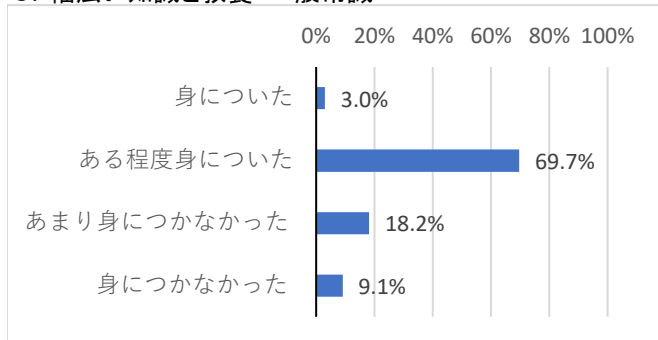
7. 外国語能力



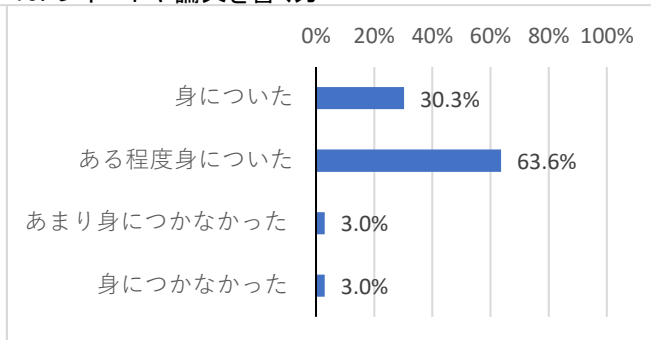
8. ICTリテラシー(情報通信技能)



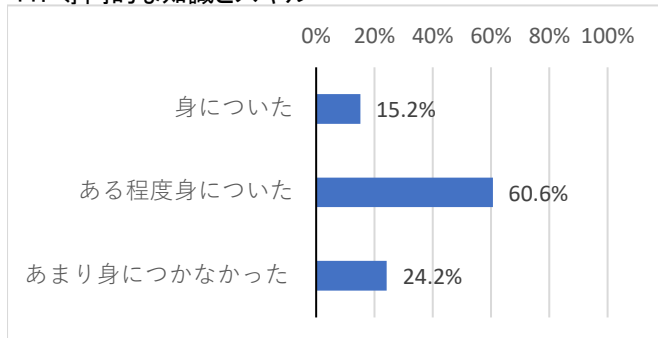
9. 幅広い知識と教養・一般常識



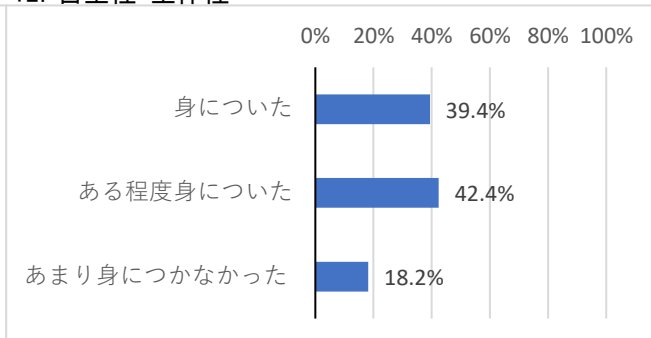
10. レポートや論文を書く力



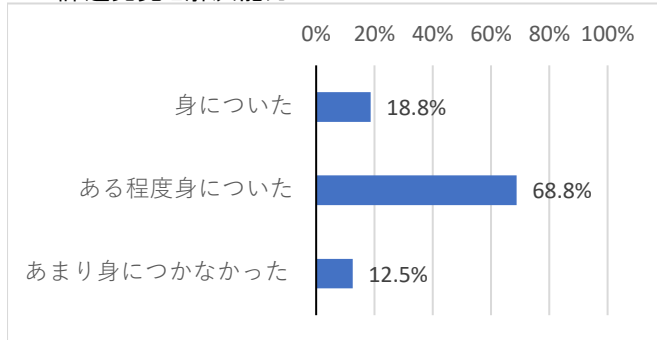
11. 専門的な知識とスキル



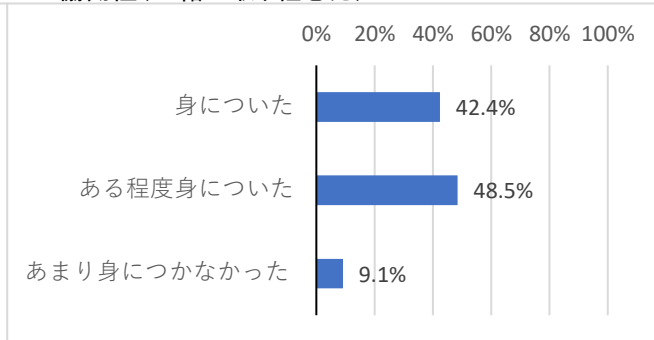
12. 自主性・主体性



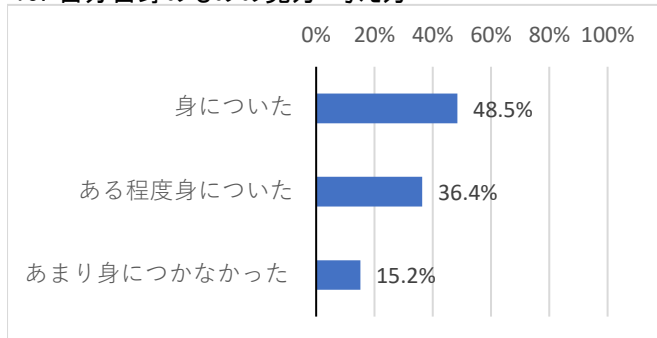
13. 課題発見と解決能力



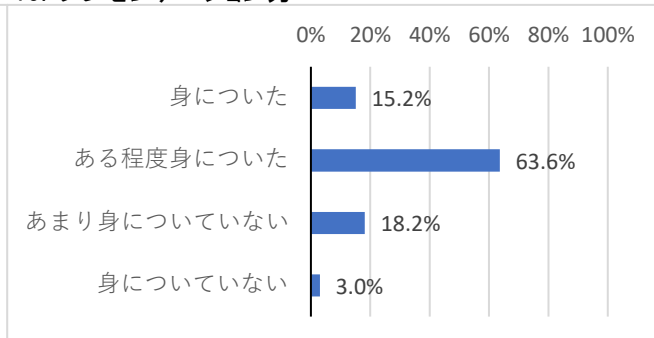
14. 協働性(一緒に取り組む力)



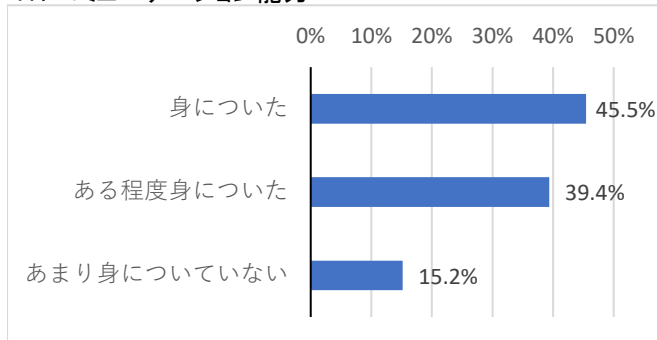
15. 自分自身のものの見方・考え方



16. プレゼンテーション力

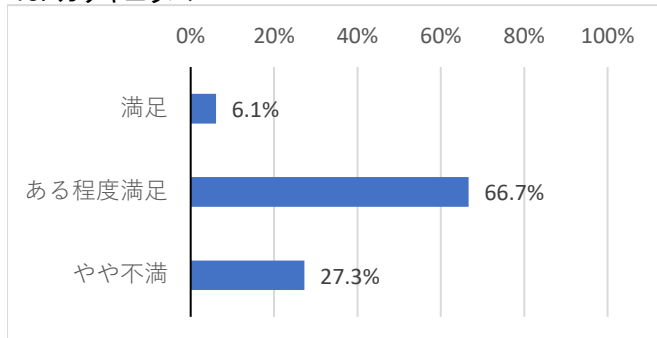


17. コミュニケーション能力

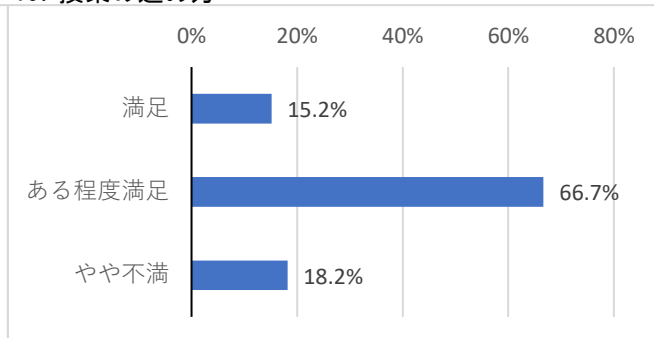


IV 下記の本学の取り組みについて、どの程度満足していますか？

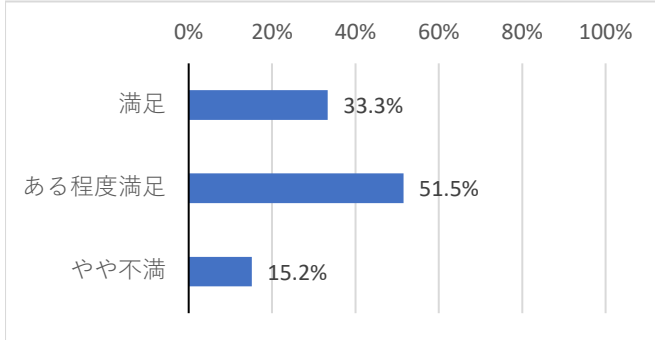
18. カリキュラム



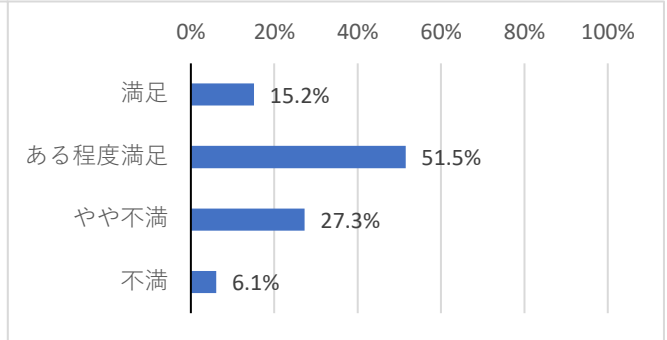
19. 授業の進め方



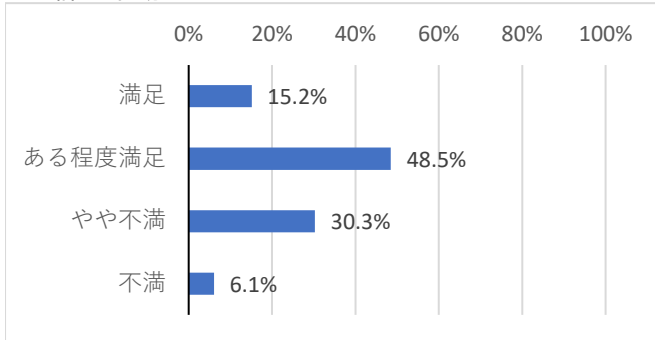
20. 成績評価



21. 留学制度

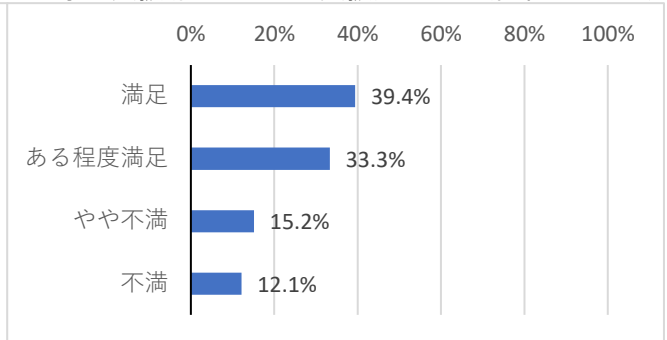


22. 課外活動

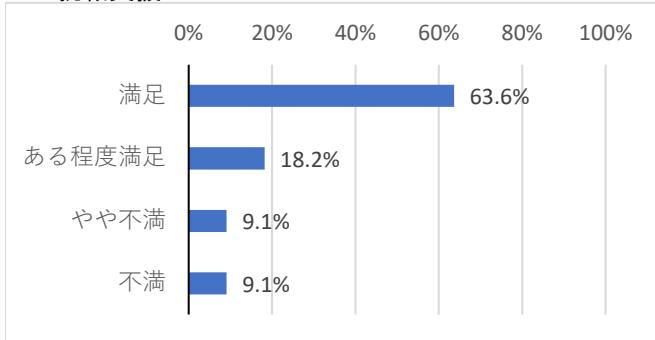


23. 学生支援(困ったときの支援)

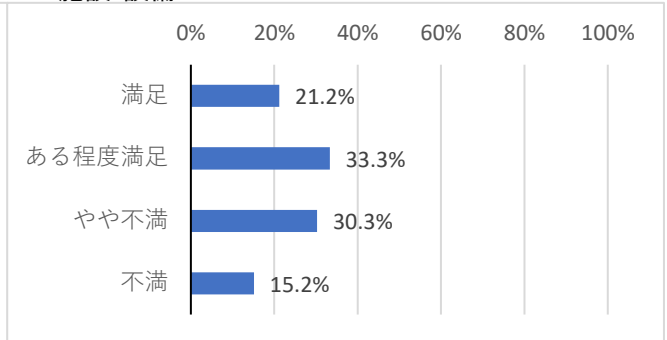
(回答なし:1人)



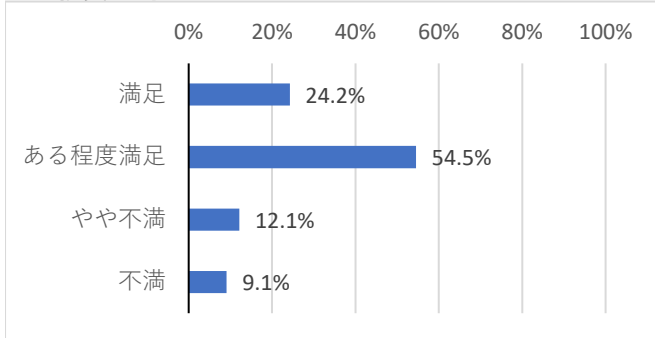
24. 就職支援



25. 施設・設備



26. 教員の対応



27. 職員の対応

